

奥平温泉 遊神館

Okuhira Onsen Yushinkan
(群馬県みなかみ町)



今回紹介するのは水上にある遊神館である。遊神館へ行く前に、近くの「たくみの里」を訪れたが、ガラス工房、和紙工房、ドライフラワー工房、染物工房、生糸工房などの体験型の施設が多く、小学生が集団で楽しんでいた。体験で汗を流し、温泉で癒される。あるいは、ブルーベリー、ぶどう、桃、りんご、プラムなどの果物狩りで汗を流した後に温泉を楽しむ。この地域にはこういった楽しめる施設が豊富だ。

さて、遊神館は地元の自治体が運営する公営の日帰り入浴施設である。このため、入浴料は極めてリーズナブルだ。中に入ると売店や食事処があるが、売店には日本海産のイカの一夜漬け（なんと内臓が透けて見えている！しかも、3個420円と格安！）が売られており、食事処には群馬や新潟の日本酒（八海山、上善如水などの一升瓶）の他、ウィスキーのボトルまで供されている。風呂上がりに日本酒とつまみを楽しめるとは、至福の時であろう。

脱衣室までのアプローチにはマッサージ椅子5基、足つぼマッサージ器2基があり、50個以上の無料で利用できる貴重品ロッカーがある。

脱衣室には、100円返却式のロッカーが84個、洗面台5個、ドライヤー4個の他に、麵棒、膝などの間接に塗るグルコサミン、酒粕美容パックも具備されている。

浴室に入る。浴室には洗い場が9か所。洗い場にはボディーソープ、シャンプー、リンスの他に、酒

粕のフェイスソープ、軽石もある。女湯にはこれら以外に酒粕の美容パックもあったらしい。他にシャワーブースは3か所ある。おむつが取れていない幼児向けのベビーバスも1個用意されている。

内湯の浴槽は3つ。大風呂は適温で定員20名程度。ジャグジーはぬるめで定員7人程度。紫陽花の薬湯はぬるめで定員7人程度だ。露天風呂は岩風呂で、定員10人程度。湯温はややぬるめだ。露天風呂への出口には「落雪、つらら注意」と書かれており、冬の気象の厳しさを物語っている。ただ、露天風呂への出口には風除室はない。

サウナは定員11人ほど。室内温度は74℃。珍しくヒーターが天井にあり、熱風が吹き出してくる形式だ。このため、熱風が直撃する場所は大変熱い。水風呂は定員3人程度。ぬるめで初心者向けだ。但し、冬期は相当冷たいと予想される。このように、遊神館には一通りのものが揃っている。

ちなみに遊神館の湯は、アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性低温温泉）で、神経痛、関節痛、筋肉痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

風呂上がりに空調に効いた座敷の食事処（定員は150人以上！）でくつろぎながら、蔵書のマンガを読むのもよし、名物の日本酒を飲むもよし、昼寝をするもよし。遊神館ではゆったりとした時間を楽しむ。日曜日の午後でもそれほど混雑していない施設は、ありがたい存在だ。お土産は、地元の農産物、まんじゅう、日本酒などが豊富にある。さて、十分に充電をしたところで、帰京だ。明日からまた仕事である。

DATA

名称	奥平温泉 遊神館
所在地	群馬県利根郡みなかみ町入須川378
電話	0278-64-2626
営業時間	10:00~21:00 (4月1日~10月31日) 10:00~20:00 (11月1日~3月31日) 1月~3月の土曜日、日曜日は21:00まで営業 第2、第4木曜日（祝日の場合は営業）
定休日	
入浴料	3時間 大人570円、小人310円、身障者大人360円、身障者小人210円 5時間 大人880円、小人520円、身障者大人570円、身障者小人310円 1日 大人1,290円、小人830円、身障者大人880円、身障者小人520円 夜間（17:00~閉館） 大人470円、小人210円、身障者大人260円、身障者小人無料 超過料金（1時間単位） 大人210円、小人160円、身障者大人160円 小人は3歳~小学生
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2019年7月21日（日）
取材	銭湯愛好会東京支部